

I 教育理念・目的・育成人材像			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
理念・目的・育成人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>・育成人材像は専門分野に関連する業界等のニーズに適合しているか</li> <li>・理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</li> <li>・社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</li> </ul>	2.4→2.1	<p>6 期生も昨年と同様、地域・在宅看護論実習（新カリキュラム）を実施し、関連業界等からの継続した協力も得られ高評価が得られている。学生の学習到達度からも理念等の達成に向けた教育活動に取り組めた状況には変わらない。しかし、社会のニーズに応えられる人材を育てようと将来構想を定め、専門分野の特性を明示し学校の特徴をアピールしてきたが、関連業界等のニーズに即応し柔軟な職業訓練を展開できる強みが十分活かしているとは考えにくく、回答結果上、進んでいるとの評価点が減少しており、平均値が低下している。</p> <p>あらためて、学校の 3～5 年程度先の学校のあるべき姿を思い描き将来構想を周知していく必要があると思われる。</p>

II 学校運営			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度 意思決定システム 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念に沿った運営方針を定めているか</li> <li>*理念等を達成するための事業計画を定めているか</li> <li>*設置法人は組織運営を適切に行っているか</li> <li>*学校運営のための組織を整備しているか</li> <li>・人事・給与に関する制度を整備しているか</li> <li>・意思決定システムを整備しているか</li> <li>・情報システム化に取り組み業務の効率化を図っているか</li> </ul>	2.1→1.7	<p>小項目*についての回答結果から努力が必要との評価が多く、前期との日が低下していることに影響している。学校運営に携わる職員として業務改善に取り組み、各々の役割を果たすべく努力を重ねてきていた状況は変わらない中で、閉校や学校の存続に関する情報の情報がタイミングよく伝えられなかったことは、少なからずモチベーションが低下することのないように努力していた。</p> <p>新入生（7 期生）を迎えるにあたり教員の面接等もあり各々学校運営に対し積極的に臨んでいる。</p> <p>情報システムでは、情報ネットワークの設備状況、パソコン台数に関して残されている課題はあるが、タイムリーに情報が提供でき、業務の効率化が図れるよう整備されつつある。</p>

III教育活動			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格 免許の取得の指導体制 教員・教員組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか</li> <li>・学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか</li> <li>・教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか</li> <li>・教育課程について外部の意見を反映しているか</li> <li>・キャリア教育を実施しているか</li> <li>・授業評価を実施する体制を整備しているか</li> <li>・成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか</li> <li>・作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</li> <li>・教員の資質向上への取り組みを行っているか</li> <li>・教員の組織体制を整備しているか</li> </ul>	2.3→2.0	中項目「目標の設定」「教育方法・評価等」「成績評価・単位認定等」において進んでいるとの評価が減少、そして、「教員・教員組織」において努力が必要との評価が増えている。教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、成績評価の基準を適切に運営するために、会議で客観性・統一性の確保に取り組み、新カリキュラムにおいては、再度、諸規定の見直し等を行い学生のレディネスに沿うように考えているが、基準に満たない学生がいる。授業内容・教育方法の改善、授業評価結果の授業改善への活用の継続と教員会議での検討課題を吟味し教育の質を高める努力を続けている。社会環境の変化に伴う関連業界等のニーズの変化を的確に反映したものにするために、教育課程の見直しが必要であると考えている。また、講師会の実施により、専任教員の連携だけでなく外部講師とも連携体制の構築を継続している。教員組織に関しては、学科毎の連携・協力体制の構築、授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みに対する時間の不足、余裕がないことが評価結果に影響していると考えられる。

IV学修成果			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社旗的评价	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格・免許取得率の向上が図られているか</li> <li>・卒業生の社会的評価を把握しているか</li> </ul>	2.1=2.1	前年度より平均値は変わっていない。就職や社会的評価に関して管理者が関連施設と連携し整備、把握されている。資格・免許取得率を向上させるための方策としては強化され、各学年の学習支援を中心に目標を定め授業を補完する学習課題を計画的に提示することは前年度よりさらに強化されている

V 学生支援			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・学生相談に関する体制を整備しているか</li> <li>・学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか</li> <li>・学生の健康管理を行う体制を整備しているか</li> <li>・保護者との連携体制を構築しているか</li> <li>・卒業生への支援体制を整備しているか</li> <li>・産業連携による卒後の再教育プログラムの開発実施に取り組んでいるか</li> <li>・社会人にニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</li> </ul>	2.1→1.8	<p>全体的に進んでいるという評価から普通に移行している結果が得られているため、前年度より評価が低下している。</p> <p>学生相談、学生生活、保護者との連携は、副学校長、教務主任を中心に相談体制がとられており、予想もしていなかった学習量や費やされる学習時間の中で追い付かない学生に対しては、科目担当の教員が関わり、学習意欲を持ち続けられるよう個別指導する時間を作っている。</p> <p>中途退学への対応については、中途退学の低減に向けた学内の連携体制はあるが、学校全体として、相談体制を整備し、退学に結びつきやすい心理面、学習面の問題解決には今後も適切に対応していく。</p>

VI 教育環境			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
施設・設備等 学外実習・インターシップ等 防災・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</li> <li>・学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか</li> <li>・学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</li> </ul>	2.1→1.9	<p>学外実習、校外学習を実施し、学生の社会性を育むことができている。またインターネット環境の整備は継続され、学生の学習効果に影響がないよう取り組んでいる。実習室や防犯体制に関する整備は今後も継続する。老朽化に対しては、学生の安全面も考えメンテナンス体制の整備が必要である。</p> <p>教員個々に他校へ研修に行く機会があり、他校の設備の見学も兼ねているため、設備等環境の整備に関しては課題が多く残されていることを実感したことが評価の結果に表れている。</p>

VII学生の募集と受け入れ			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
学生募集活動 入学選考 学納金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校等接続する教育機関に対する情報に取り組んでいるか</li> <li>・学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか</li> <li>・入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</li> <li>・入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</li> <li>・経費内容に対応し学納金を算定しているか</li> <li>・入学辞退者に対して授業料等について適正な取り扱いを行っているか</li> </ul>	2.3→1.9	<p>学生募集活動に関して、進んでいるとの回答が努力が必要に移行し、全体的に進んでいるとの回答が普通または努力が必要に移行し評価が低くなっている。今年の入学選考にあたっては、準備期間も短く、広報活動・学生募集活動を行うには十分な時間がなかったが、定められた規定等に基づいて運用し、時間をかけて公平性のある合否判定体制ができていた。</p> <p>応募者数、合格者数、入学者数を予測するには難しい状況であった。</p>

VIII財務			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</li> <li>・学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</li> <li>・教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</li> <li>・予算及び計画に基づき適正に執行管理を実施しているか</li> <li>・市立学校及び計画に基づき適切に監査を実施しているか</li> <li>・市立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し適切に運用しているか</li> </ul>	1.8→1.9	<p>平均値は上昇している。前年度までは努力が必要という回答が多かったが、今年度は”普通”と答えている回答が多い。職員としてコスト管理、収支の状況について継続して考えている。</p>

IX法令等の遵守			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
関係法令、設備基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</li> <li>・学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</li> <li>・自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公表しているか</li> <li>・学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</li> <li>・学校関係者評価結果を公表しているか</li> <li>・教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</li> </ul>	2.4→2.3	<p>全体的に進んでいるとの回答が減少しその分はほぼ普通に移行している。今年度は、教員それぞれが自己点検・自己評価を行う時間に追われ定期的にできなかったことが考えられる。</p> <p>評価結果に基づいた諸活動の改善に関しては課題が残っている。</p> <p>教育情報の公開では、積極的な情報提供の取り組みは継続しており、前年度に続き情報提供を通じて本校の社会的評価が確立していくよう努力は続けている。</p>

X社会貢献・地域貢献			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
社会貢献・地域貢献 ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</li> </ul>	1.5→1.3	<p>学生は地域・在宅看護論実習として初めて社会を体験している。その学習成果が社会に還元できるかどうかは今後まだ見守っていく必要があるが、意義のある貢献が行えるよう教育的関わりを継続していく。社会貢献・地域貢献のための活動を行うにあたり、学生自身がボランティア活動に積極的な姿勢を示してもらえよう関りは続けていく。</p>